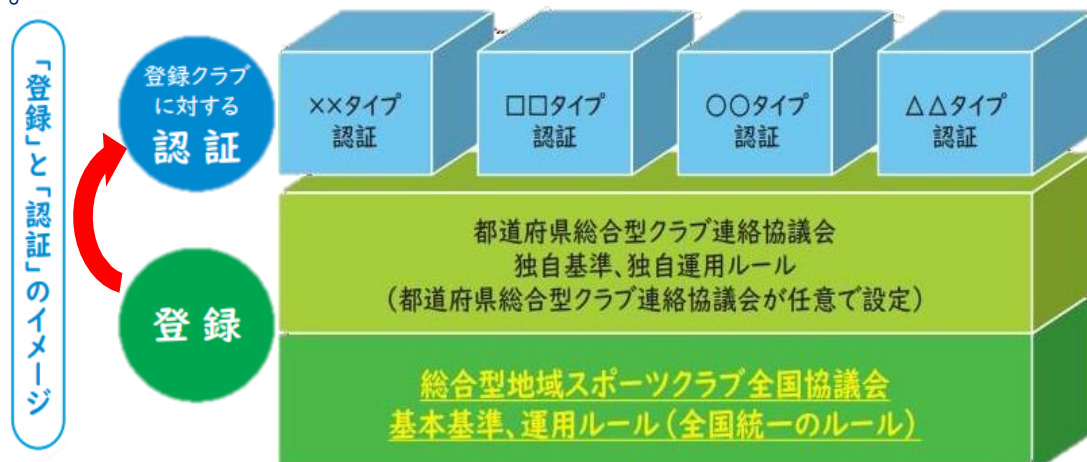


# 登録・認証制度

## 登録・認証制度とは？

総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度における『登録制度』は、第3 期スポーツ基本計画に記載された目的を実現するための『土台(基盤)』であり、2 階建て構造の1 階部分にあたります。

そして2 階部分にあたる『認証制度』は、登録クラブや地方公共団体等が『地域課題の解決に向けた取組を推進』していくという目的を実現するための制度で、自クラブの成長や発展、行政との連携や地域スポーツ環境の整備・発展のための『手段』として、本制度を活用いただきたいと考えております。



## 第3 期スポーツ基本計画(令和4 年3 月策定)

第3 章(10)②地域のスポーツ環境の構築(P61)

ウ 国 J S P O 及び地方公共団体は、中間支援組織が取り組む総合型クラブの自立的な運営を含む質的充実や地域課題の解決に向けた取組を支援する。

エ 国及びJ S P O は、総合型クラブの登録・認証制度を 47 都道府県で運用開始し、当該制度を通じて、総合型クラブの質的な向上を図るとともに総合型クラブと地方公共団体等との連携による地域課題の解決に向けた取組を促進する。

## 認証制度の概要

◎地域課題の解決や、地域スポーツ環境の発展に繋がるタイプ認証を用意し、タイプ別の認証基準を具備していると認められる登録クラブを認証する制度です。(諸規程は[コチラ](#))

◎登録クラブが自らの希望により申請するもので、複数タイプの認定も可能です。

◎申請条件:

- ① 登録クラブであること
  - ② 総合型クラブとして法人格を有していること
- ※ その他、タイプ別認証ごとに申請条件を設ける場合があります。

◎費用

- ・審査料(1 タイプ(回)ごとの審査費用): **33,000 円(税込) / 1タイプ(回)**
  - ・認定料(審査の結果、認定『可』となった場合の認定料): **11,000 円 (税込) / 1タイプ**
- ※更新の際も審査料・認定料は同額必要となります。

◎認定期間: 認定時～認定後4年以内に終了する事業年度の3 月末日まで

◎タイプ別認証の種類 ※ 将来的には、地域課題解決や地域スポーツ環境の発展に必要なタイプなど、認証の種類を増やす予定

【運用中】

部活動の地域展開タイプ

障がい者のスポーツ推進タイプ

【検討中(令和7 年度現在)】

介護予防タイプ (検討中)

## 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の説明

### 1 登録・認証制度により登録認定されたクラブの概要(「登録認定クラブ」)

- ①対 象 全国協議会の登録認定クラブ
  - ②要 件 満たすべき運用ルール等、登録・認証制度で定める規定に基づき登録認定されたクラブ
  - ③会 費 年間 5,000円 ※全国協議会に納入
  - ④認定期間 1年間(4/1～3/31)※毎年更新審査を実施
  - ⑤会員審査 静岡県協議会登録審査委員会の審査後、全国協議会による審査
  - ⑥そ の 他 静岡県広域スポーツセンター登録制度の「静岡型クラブ」にも登録(会費は無料)
- ※JSPO ホームページ [総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 とは - JSPO \(japan-sports.or.jp\)](http://japan-sports.or.jp)

### 2 登録認定において必ず満たすべき運用ルール

分類	個別基準	必ず満たすべき運用ルール
(1) 活動実態 に関する 基準	①多種目(複数種目)のスポーツ活動を実施している。	・定期的なスポーツ活動を2種目以上実施している。
	②多世代(複数世代)を対象としている。	・次の世代区分のうちいずれか2区分以上の会員がいる。 (世代区分)A)未就学児、B)小学生、C)中学生、 D)高校生(～18歳)、E)～29歳、F)～39歳 G) ～49歳、H)～59歳、I)～69歳、J)70歳～
	③適切なスポーツ指導者を配置している。	・日本スポーツ協会(以下「JSPO」という。)が公認スポーツ指導者を養成している競技・種目の定期的な教室活動の指導者のうち少なくとも1名はスポーツコーチングリーダーやスタートコーチをはじめとするJSPO公認スポーツ指導者資格(スポーツリーダーは除く)を有している。なお、JSPOが同等と認める関連資格保有者も可とする。
	④安全管理体制を整備している。	・クラブの各スポーツ活動における安全管理をスポーツコーチングリーダーやスタートコーチをはじめとする JSPO 公認スポーツ指導者資格(スポーツリーダーは除く)が担っている。なお、JSPO が同等と認める関連資格保有者も可とする。 ・緊急連絡体制を整備している。
(2) 運営形態 に関する 基準	⑤クラブマネジャー等に専門的知識を有する者を配置している。	・クラブマネジャー、事務局員及び役員というクラブの運営に関わる者の少なくとも1名は、JSPO公認クラブマネジャー又はアシスタントマネジャー資格を有している。
	⑥地域住民が主体的に運営している。	・総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」という。)の最高意思決定機関の議決権を有する者の過半数が、総合型クラブが所在する市町の住民、在勤者又は在学者である(前述の要件を満たせない場合は、総合型クラブが所在する市町村並びに当該市町村に近隣の市町村の住民、在勤者及び在学者を合算すると議決権を有する者の過半数である)。 ・非営利組織である。
(3) ガバナンス に関する 基準	⑦規約等 <sup>※7</sup> が意思決定機関の議決により整備され、当該規約等に基づいて運営している。	・規約等の改廃に必要な総会・理事会・運営委員会等の意思決定機関の議決について当該規約等に定めている。
	⑧事業計画・予算、事業報告・決算が、意思決定機関で議決されている。	・事業計画・予算、事業報告・決算を議決した総会・理事会・運営委員会等のうち最上位の意思決定機関の議事録が提出されている。

# 第1章

## 部活動の地域展開タイプについて

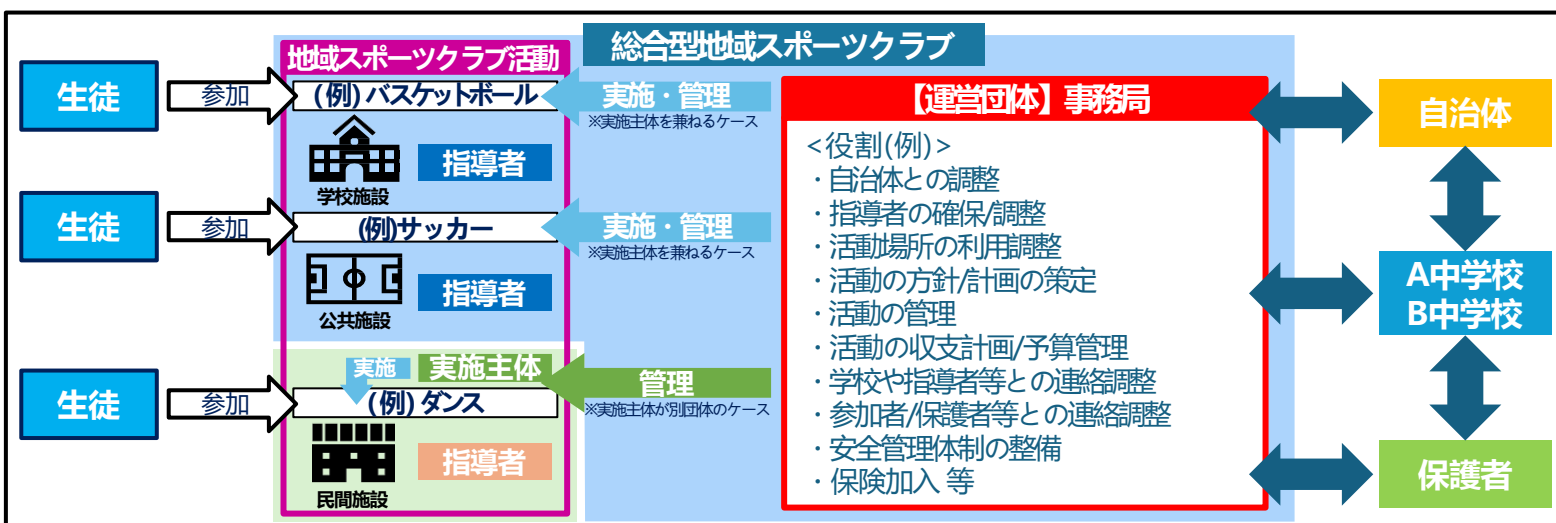
### 1-1.概要

部活動の地域展開において、地域スポーツクラブ活動の運営団体を担う資質を持った登録クラブを認証し、子どもたちの地域スポーツ環境の整備を促進する認証タイプです。

### 1-2.申請条件

- ①登録クラブであること
- ②総合型クラブとして法人格を有していること
- ③部活動の地域展開における、地域スポーツクラブ活動の**運営団体(※)**を担っていること  
**※運営団体：各競技種目等の地域スポーツクラブ活動の全体を統括し、事務局として下のイメージ図のような役割を担う団体**

◆総合型地域スポーツクラブが運営団体を担う場合の体制イメージ図  
(地域の実状に応じて体制が異なる場合があります)



#### < 注意事項 >

- 部活動に指導者の派遣等を行う『**地域連携**』は**本タイプ認証の審査対象外**となります。  
※クラブとして部活動の『地域展開』と『地域連携』のどちらも行っており、上記の申請条件をはじめ、事前チェックシートでの全チェック項目を満たす場合は申請可能ですが、『地域連携』に関する内容については審査対象外となります。
- 部活動の地域展開における地域スポーツクラブ活動において、『運営団体』は担っておらず、特定の競技種目等の活動環境を提供・実施する『**実施主体**』のみを担っている場合は**本タイプ認証の申請対象外**となります。

# 第1章

## 部活動の地域展開タイプについて

### 1-3. 認証基準

大項目	小項目	No.	認証基準
活動の質	ガイドラインの遵守	①	クラブの活動方針・活動計画等が、スポーツ庁や都道府県・市町村(特別区は市町村に準ずる)が定めるガイドライン等に準じている。
	ニーズの把握・反映	②	参加者のニーズ等を把握し、活動へ反映する仕組みや体制がある。
	指導の質の確保	③	適切な指導を行うために、指導者の質を確保している。
連絡・連携体制	関連団体との連携	④	自治体や学校との連携が取れている。
	連絡体制の確立	⑤	運営に必要な連絡システムを整備・管理している。
活動の継続性	収支計画の策定	⑥	継続して運営・活動を行うために、適切な収支計画を立てている。
リスクマネジメント	安全管理体制の確立	⑦	安全・安心な活動を提供するための方針や体制を整えている。
	保険の加入	⑧	クラブが、参加者等の怪我や活動時の事故等に備えたリスクマネジメントのために、必要な保険に加入している。

# 部活動改革及び地域クラブ活動の推進等 に関する総合的なガイドライン

～子供たちのスポーツ・文化芸術活動の充実に向けて～

令和 7 年 1 2 月

文部科学省



## 2 各種課題への対応

### (1) 運営団体・実施主体の整備等

#### ①基本的な考え方

- 地域クラブ活動の運営団体・実施主体においては、市区町村等による企画・調整の下、認定要件等に則って、持続的・安定的に生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を提供することが求められるため、適切な運営体制の整備等を行うことが必要。地方公共団体が運営団体・実施主体による地域クラブ活動の運営の状況等を把握しつつ、持続的・安定的な運営に向けたサポートをきめ細かく行うことなども重要。
- 特に、地域クラブ活動の運営団体については、各実施主体を統括するとともに運営・管理の中核を担う観点から、組織体制・財政基盤の構築・強化、運営を担う人材の確保・育成、ICT 等を活用した運営業務の効率化、組織としての責任を明確にするための法人格の取得等を進めることが望ましい。

※国において作成予定の地域クラブ活動の創設・運営等に係るガイドブックも参照。

#### ②具体的な取組内容（例）

項目	主な取組例
運営に関するサポート体制の整備、運営を担う人材の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体による地域クラブ活動の運営に関する相談・助言窓口等のサポート体制の整備</li> <li>・地方公共団体による会計・税務処理や労務管理、個人情報の取扱い、ガバナンス、マネジメント 等に関する研修機会の確保 等</li> </ul>
組織体制・財政基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」に準拠した運営（法令等に基づく事業運営、公正かつ適切な会計処理など）</li> <li>・公益財団法人日本スポーツ協会における総合型地域スポーツクラブ登録制度及び認証制度（部活動の地域展開タイプ）の活用</li> <li>・活動の維持・運営に必要な適切な額の参加費等の設定</li> <li>・多様な財源の確保（協賛企業の獲得、ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用等） 等</li> </ul>
ICT 活用による運営業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クラブ活動の指導者や参加者との連絡・調整、参加者の出欠、活動の実施報告へのコミュニケーションアプリ等の活用</li> <li>・参加費等徴収や指導者への報酬支払等の会計業務等におけるICT の活用</li> <li>・ICT の活用による各種運営業務の一元的な管理の検討 等</li> </ul>

## (2) 指導者の確保・育成

### ①基本的な考え方

- 地域クラブ活動を円滑に実施するためには、地域の多様な人材等から、質・量ともに十分な指導者を確保することが不可欠。
- 部活動の地域展開に当たっては、活動内容の質的な向上も図る必要があり、そのためには、参加者が中学生等であることを踏まえた、適切な資質・能力を備え、保護者・生徒等から信頼される指導者による良質な指導が行われることが重要(「認定地域クラブ活動指導者」登録制度については、別冊資料①の別紙2を参照)。
- 指導者の確保に当たっては、人材バンクの設置等を通じて地域の多様な人材の発掘・マッチングなどを進めるとともに、指導を希望する教師等の兼職兼業を促進することも重要(教師等の兼職兼業についての詳細は、VIの1を参照)。

### <想定される人材の例>

#### 【地域スポーツクラブ活動】

総合型地域スポーツクラブの指導者、スポーツ少年団の指導者、競技団体の指導者、アスリート、スポーツ推進委員、大学生(特に体育・スポーツ系及び教員養成系、卒業生を含む。)、退職教職員、教職員(兼職兼業)、部活動指導員(地域クラブ活動の指導者を兼務)、民間スポーツクラブの指導者、民間企業等の社員・自営業者・公務員(兼職兼業)、教員免許所有者、SEA・CIR(JETプログラムによるスポーツ国際交流員・国際交流員)、武道関係者 等

#### 【地域文化クラブ活動】

アマチュアでの活動者、アーティスト、大学生、退職教職員、教職員(兼職兼業)、部活動指導員(地域クラブ活動の指導者を兼務)、民間の文化芸術関係の指導者、民間企業等の社員・自営業者・公務員(兼職兼業) 等

# 第1章

## 障がい者のスポーツ推進タイプについて

### 1-1.概要

障がい者の日常的なスポーツ機会の増加を目指した活動を実施する登録クラブを認証し、障がい者の社会進出やインクルーシブなスポーツ環境の実現を促進する認証タイプです。

### 1-2.申請条件

- ①登録クラブであること
  - ②総合型クラブとして法人格を有していること
  - ③障がい者が活動に参加できる体制かつ事業実績(※)があること。
- (※)事業の種類(事業委託または独自事業どちらでも可)は次の①または②に該当するもの
- ①障がい者をメインターゲットとした事業
  - ②障がいの有無にかかわらずだれでも幅広く対象としている事業

#### <ポイント>

対象となる事業はクラブが主催する事業でない場合も可とし、受託授業であっても、事業や活動の責任主体としてクラブが関わっているかどうかで判断します。

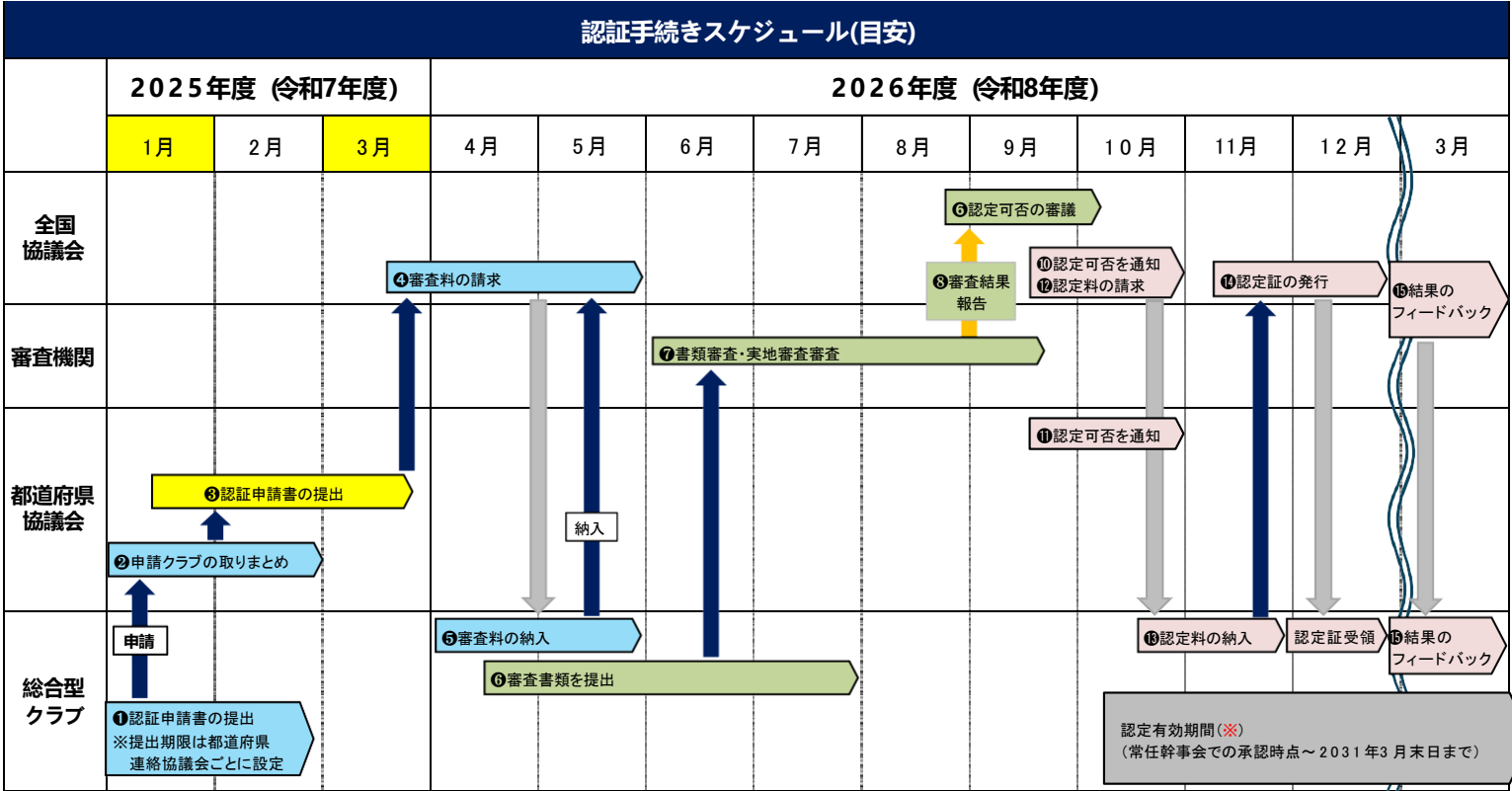
### 1-3.認証基準

大項目	小項目	No.	認証基準
活動の質	活動実績	①	障がい者のスポーツ実施率の増加を目的とした活動を実施し、障がい者が定期的に活動に参加している実績を有している。
	関連団体との連携	②	基準①で回答した事業において、障がい者のスポーツに関連する団体と連携・協働(事業委託含む)している。
	効果・安全性の確保	③	安全かつ効果的なプログラムを提供するために、専門的な技術・知識を持った指導者・スタッフを確保している。(クラブ所属指導者に限らず外部委託指導者も可)
	必要情報の取得	④	参加者が必要とする配慮やサポートをするための情報を確認し、活用する体制がある
活動の継続性	収支計画の策定	⑤	基準①で回答した事業において、継続して運営・活動を行うための予算を確保する計画がある。
リスクマネジメント	安全管理体制の確立	⑥	参加者の特性に応じた安全・安心な活動を提供するための方針や体制を整えている。
	保険の加入	⑦	クラブが、参加者の怪我や活動時の事故等に備えたリスクマネジメントのために、必要な保険に加入している。



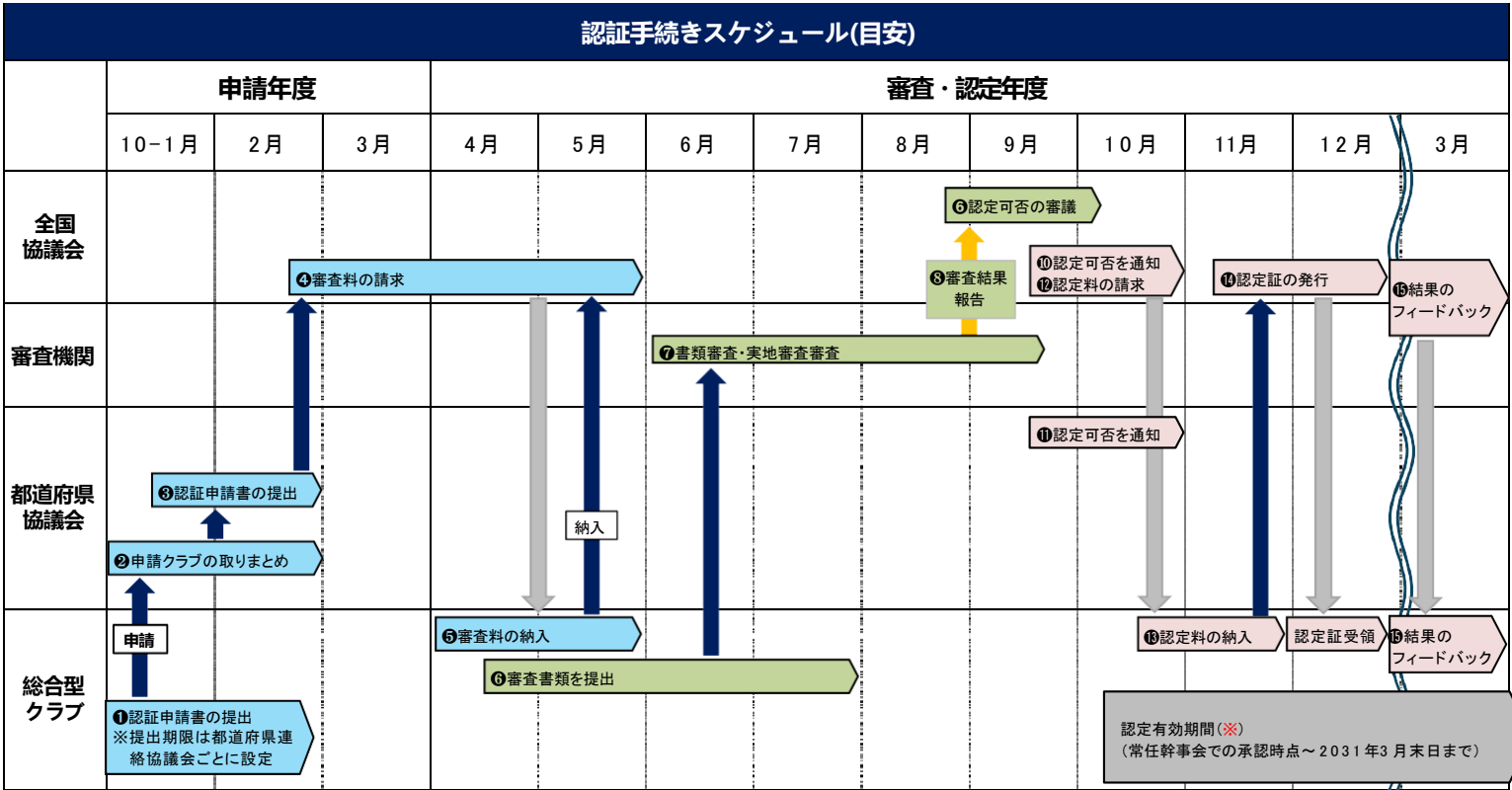
# 2026年度(令和8年度)の手続きスケジュール

2026年度における認証手続きスケジュールは、下記の通りです。  
※2026年度のみ1月から申請受付開始。申請書の提出も3/31まで。  
資料下部の2027年度以降のスケジュールが通常です。



# 参考) 2027年度(令和9年度)以降の手続きスケジュール

2027年以降の認証手続きスケジュール(通常スケジュール)は、下記の通りです。



静岡県総合型地域スポーツクラブ関連事業（広域スポーツセンター事業）

○主要事業：研修会事業・交流事業・アシスタントマネジャー養成事業・広報事業

○研修会・交流会事業

＜令和６年度＞

市町クラブ担当者 研修会	○事例発表：「菊川市 部活動地域展開に向けて」・「アプロス菊川の紹介」 （講師）菊川市教育委員会、アプロス菊川（登録認定クラブ） ○情報提供：「中学校における運動部活動の地域展開等について」 （講師）静岡県教育委員会健康体育課
クラブ視察見学会 市町等新任担当者 研修会	○視察見学会：「障がい者スポーツ教室の実際」・ボッチャ体験 （視察先・講師）Ｆ－ＳＰＯ ○研修会：登録・認証制度手続・登録システムマニュアル 等
マネジメントセミ ナー 指導者資質向上講 習会	○マネジメントセミナー ・講義：「デジタルマーケティングの効果とリスクマネジメント」 ・講師：みんなのＡＳＯＢＩ ○資質向上講習会：講習・実技…「ＡＣＰ 幼児の指導法」、運動遊び体験 （講師）Ｆ－ＳＰＯ

＜令和７年度＞

マネジメントセミ ナー 指導者資質向上研	○マネジメントセミナー：クラブ紹介の充実を図るための取組 （講師）みんなのＡＳＯＢＩ ○指導者講習会：部活動外部指導者として留意点・部活動地域展開の状況 （講師）静岡県教育委員会健康体育課 ○指導者研修：講義・実技…バルシューレ （講師）ＮＰＯ 法人 JUNSHIN SPORTS CLUB
市町・クラブ担当 者研修会 クラブ視察	○クラブ視察・クラブ紹介 ・講義：静岡産業大学「いわた総合スポーツクラブ」の活動状況 ・講師：いわた総合スポーツクラブ ○磐田市の部活動地域展開への取組 ・講義：磐田市教育委員会「ＳＰＯ☆ＣＵＬ ＩＷＡＴＡ」の取組と今後の展開 ・講師：磐田市教育委員会放課後活動課 ○クラブ紹介 ・講義：アザレア・スポーツクラブの地域活動 ・講師：一般社団法人アザレア・スポーツクラブ

○アシスタントマネジャー養成講座

令和５年度	令和５年 11 月 25 日（土）、26 日（日）	静岡県スポーツ協会会館
令和６年度	令和６年 8 月 31 日（土）、9 月 1 日（日）	
令和７年度	令和７年 8 月 30 日（土）・31 日（日）	

○情報誌の発行

- ・クラブ情報誌作成：登録認定クラブ・静岡型クラブの紹介＜作成数：500 部＞
- ・配布先：クラブ関係者、市町スポーツ主管課、市町体育・スポーツ協会 など